




**たからべ森の学校**

# 学校だより

発行元：たからべ森の学校  
 住所：曾於市財部町北俣 5410-1  
 電話：0986-28-6120  
 FAX：0986-28-6121  
 URL：http://t-morinogakkou.jp/

Vo1. 23

＊平成 27 年度求職者支援訓練 ～調理補助者養成科 訓練スタート～

今月の 1 枚

平成 27 年度求職者支援訓練「調理補助者養成科」がいよいよスタート！新たに 5 名の訓練生を迎えて 3 カ月間、調理の基礎知識・技術を学びます。【筆者】東 拓希



### 調理とパソコンのスキル習得！

### 学校農園の野菜を実習で活用

スカッと気持ちの良い天気を迎えられ、新たな訓練がスタートしました。

たからべ森の学校では、農業の職業訓練を実施していることもあり、学校農園で野菜の栽培を行っています。この時期は、農業の訓練がまだスタートしていないこともあり多品目ではありませんが、玉ねぎ、赤玉ねぎ、きゅうりを野菜調理実習のなかで食材として活用することが出来ました！

調理補助者養成科は、3 カ月間の訓練期間のなかで、調理や食物に関する基礎知識やテクニクに加え、献立作成や食材の発注書等の作成を通して、パソコンのスキルも身に付けます。

「もぎたて新鮮な野菜を食材として取り入れてみたい！」ということもあり、お昼休みの時間には、谷口先生と一緒に、きゅうりの収穫体験も楽しんだ訓練生達。

今回、この調理補助者養成科の訓練に参加する訓練生は 5 名。

早速、野菜調理実習では店頭で購入してきた、きゅうりとの食感や鮮度、味わいなどを比べるなど、また新しい刺激となったようです。

訓練を通じて調理分野への就職を目指し、将来は管理栄養士の資格取得を目標にする人。就職して腕を磨き、将来は自分の店を持ってみたいという人。なかには、これまで料理らしい料理に挑戦したことが無かったという人。

農業の訓練も始まり野菜の種類も豊富になると、調理実習で活用する楽しみや、食材に対する意識も、もっと変化がおこるのではないかと益々楽しみになってきます。

それぞれ個性豊かな訓練生が、学校に入所することとなり、3 カ月間楽しく、そしてやりがいのある充実した訓練となればと感じています。



### 調理の基本は包丁にあり

今回の調理補助者養成科は、包丁の扱いという点にも特に力を入れて実習に取り組んでいます。就職を想定した際、調理補助の仕事として考えられるのが、食器類の洗浄や盛付、そして食材の下ごしらえ、仕込み。

現場に入り、皮剥きや指示された切り方をきちんとこなすことが出来るよう、何度も反復練習を行います。

輪切りから始まり、半月切り、銀杏切り、千切り、千六本切り、そぎ切り、かつら剥き、シャトー剥きなど様々な切り方に挑戦中です。

また、仕上がり、そして時間といった部分にもこだわります。同じ作業を安定した質でどれだけ早くこなすことが出来るかといった意識を常に持ちながら日々奮闘しています。

★ECO 農業への取り組みスタート★

調理補助者養成科がスタートしたこともあり、食材の栄養素の部分などについても興味が高くなりました。そこで、学校で栽培をする野菜にも何か特色があるものを取り入れようということで、今年は**高リコピントマト**のひとつとされている、中玉トマトの「フルティカ」という品種のトマトを栽培しています。リコピンには、喫煙やストレス、食品添加物の摂取や電磁波などで**体の中にたまった活性酸素を除去する働きがある**といわれています。

今回このフルティカを栽培するにあたって、**秘密兵器を投入!**それが、こちらのコンポスト。調理実習で出た生ごみを、「ボカシ」と呼ばれる微生物の含まれた粉末と一緒に貯蔵し、堆肥にしてしまう優れものです!

コンポスト内で生ごみを水分と固形物に分離させ、水分は液肥や、排水溝、トイレなどの臭い消しに。固形物は土と混ぜて堆肥として活用できます。

フルティカの定植時にこの堆肥を活用してみました。なかなか順調な生育ぶり。鈴なりの実が出来てきました。真っ赤に色づく収穫時期が今から楽しみです。果たして味わいも変わってくるのでしょうか?乞うご期待!!



初めてのスマートフォン・タブレット講座

曾於市では生涯学習教室の一環として、「曾於市総合大学」と言う一般の方を対象にした様々なコースを開講しています。今回、その講座のひとつとして、「**初めてのスマートフォン・タブレット講座**」がスタートしました。スタッフの小野と東が講師として、6月11日に財部中央公民館へ行ってきました。

今回の講座では、全8回の講座を通してスマートフォン・タブレットの基礎的な使い方から、インターネット活用。カメラ機能を使ったきれいな写真の撮影方法、ブログの開設やSNSについてなどを勉強していきます。

久しぶりの一般講座で、しかも学校以外の場所での講座ということもあり少し緊張しながらの初回となりましたが、**多くの方に参加をいただき、ワイワイと賑やかで楽しいスタートを切ることが出来ました。**

職業訓練とは違った地元地域の方々との新たなご縁に、改めて楽しさややりがいを感じる事が出来る良いきっかけとなりました。スマホの使い方の幅が広がった!スマホやタブレットを使ってこんな楽しみが増えたといった言ってもらえるように、楽しい講座を心がけていきたいと思います。

初めてのスマートフォン・タブレット講座(財部) (講座番号23)

- 講師 財部森の学校 ■定員 20名(一般)
  - 開講日 6/11(木) 木曜日(全8回)
  - 時間 19:00~21:00 ■会場 財部中央公民館
- スマートフォン(タブレット)やSNSの使いこなし術を伝授します。情報モラルも学びましょう!



農業・田舎暮らし体験プログラムを開催します!!

「農業をやってみたい!田舎暮らしの良さを味わってみたい!でも...いきなり就農したり、移住をしたりすることってかなり勇気がいるし、ハードルが高いよなあ...。」そんな想いを持たれている方、意外と多いのではないのでしょうか?そこで、たからべ森の学校では、未経験でも安心して、楽しみながら農業や田舎暮らしを味わっていただくことが出来る体験プログラムを開催することになりました。

現在準備を進めているのは3つのコース。市内観光・イベント体験1日、農業体験2日間の気軽に旅行気分に参加することが出来る、2泊3日の「プチ旅行コース」。もう少しじっくり農業体験してみたいという方には、市内観光・イベント体験2日間、農業体験5日間の6泊7日「ショートステイコース」。いやいや、私は農業だけじゃなくて、田舎暮らしも体験してみたいなという方には、滞在期間1ヵ月間の「ロングステイコース」と、ご希望に合わせて滞在期間が選べるようになっています。市内観光では学校のある**曾於市内のパワースポットや、全国遊歩百選の森のひとつにもなっている「悠久の森」の散策。農業体験では、野菜の収穫体験に加え、収穫した野菜を使った石釜ピザ作りや合鴨農法によるお米作り体験**などを楽しめる企画を計画中です。

田舎暮らしや農業をしてみたいけれどこれまできっかけが無かったという方や、移住に向けて何から手をつけて良いかわからないという方は、このプログラムを通してまずは体験してみて、田舎暮らしの魅力や、農業のやりがいや楽しさを感じ取ってもらえたら私たちも嬉しいなと思います。

田舎暮らし農業体験プログラムの詳細はたからべ森の学校のホームページで紹介しています。ホームページの中では、Iターンで曾於市へ移住をした農業人材育成科の卒業生の声や、プロモーションビデオなども掲載しています。是非ご覧になってみてください。

【農業・田舎暮らし体験紹介ページ URL】 <http://t-morinogakkou.jp/sooiju/>

